

甲南大学には 就職に強い理由がある。

就職率 **98.9%**

・文学部 98.6%	・経済学部 99.1%	・法学部 98.2%
・経営学部 98.8%	・マネジメント創造学部 99.4%	
・理工学部 99%	・知能情報学部 100%	
・フロンティアサイエンス学部 100%		

甲南大学の学生に対する社会からの評価は、高い就職率に表れています。教員や職員はもちろん、社会の第一線で活躍される卒業生のご協力を得て、オール甲南ネットワークで、学生一人ひとりの可能性を引き出しています。

※「就職率」は就職希望者に占める就職者の割合を指し、就職者を就職希望者数で除したものとします。 ※「就職希望者」は卒業年度中に就職活動を行い、大学を卒業後速やかに就職することを希望する者を指し、卒業後の進路として「進学」「家事手伝い」「資格取得」などを希望する者は含みません。 ※2024 年度実績

オール甲南で全面バックアップ

進路把握率 **99.6%** 個別相談件数 **6,350** 件/年 支援プログラム数 **246** 回/年

職員

就職に関する個別相談などのサポート



・キャリアセンター
・職員キャリアサポーター
・教職教育センター

教員

授業を通して進路を考えるサポート



・キャリアデザイン系科目

内定者

就活の経験を生かしてサポート



・甲南 OBF
(内定学生による就職支援団体)

卒業生

仕事や働き方のリアルを語ってサポート



・OB・OG 懇親会



ビズリーチ・キャンパス for 甲南大学

大学公認の OB・OG 訪問ツールとして、株式会社ビズリーチが運営する「ビズリーチ・キャンパス」を導入しています。このツールでは、アプリ内のメッセージ機能や通話機能を通じて、オンラインで OB・OG 訪問が可能です。さまざまな業界・企業でご活躍されている卒業生の方々から直接お話を伺う機会は、学生にとって進路選択の大きな助けとなります。卒業生のみなさまには、ぜひ本ツールにご登録いただき、学生のキャリア支援にご協力をいただけますと幸いです。

ビズリーチ・キャンパス



OB・OG のみなさま、
ぜひ、ご登録をお願いします

問い合わせ 甲南大学 キャリアセンター E-mail ps@adm.konan-u.ac.jp

就活最前線

甲南大生の就活事情と

オール甲南ネットワークによるサポート体制

ミディアムサイズの大学の特徴を生かして、一人ひとりの学生に手厚いサポート

近年の就職活動は「早期化・長期化・二極化」が進んでいます。3 年次の春ごろから準備を始め、夏休みには企業や自治体を実施するインターシップに参加する学生も多くなります。また、秋以降もインターシップやオープンカンパニー（企業説明会など、短期間のプログラム）が本選考まで継続して実施されるため、就活が長期化する傾向が見られます。政府指針では 4 年次の 6 月に選考解禁と定められているため、1 年以上にわたって就活を続ける学生も少なくありません。こうした状況に対応して、早期から動く学生には、各業界の特徴などを理解するための業界別セミナーや、インターシップの選考に向けた書類対策、個別相談や面接練習などを通じて、継続的な支援を行っています。一方で、さまざまな事情から就活の開始が遅れる学生や、動き出しに慎重な学生もいます。こうした学生に対応するため、キャリアセンターが主催する就職支援プログラムを開催時期を変えて複数回実施するほか、教員との協働によるサポートなど、適切なタイミングで背中を押すよう心がけています。

キャリアセンターでは国家資格「キャリアコンサルタント」の有資格者を複数名配置し、学生が随時キャリアに関する個別相談を受けられる体制を整えています。模擬面接や履歴書・エントリーシートの添削といった個別支援に加え、就活に役立つ各種ガイダンスや対策講座などのイベントも定期的に開催しています。その他、特長的な取り組みとして、2 年次を対象に 1 泊 2 日で東京に拠点を置く企業を訪問する「企業訪問ツアー in TOKYO」を開催し、早い段階から学生が働く環境を体感し、将来の進路選択やキャリア意識の醸成につながるよう支援しています。

甲南大学の卒業生ネットワークによる就活支援にも力を入れています。OB・OG 懇談会をはじめ、年間を通じて複数回、交流イベントを開催しており、さまざまな分野で活躍の卒業生のお話を直接伺うことで、仕事内容や働き方をリアルに知る機会となっています。さらに本学では「ビズリーチ・キャンパス」を公

認化し、オンラインで卒業生とつながる仕組みを取り入れていきます。これによって、学生が時期や場所にとらわれずに自身の関心に沿って OB・OG 訪問ができ、進路選択や業界理解を深めることが可能となっています。

キャリアセンター所長
きなり ゆうすけ
木成 勇介 教授





文学部 社会学科 4年次
くすもと かりん
楠本 花梨さん
三井住友銀行
オペレーション・プロフェッショナル
コース内定



京セラ株式会社
電子部品事業本部
プロダクトマーケティング部
ほんま しんご
本間 新吾さん
文学部 英語英米文学科
2020年卒業

世界に向きあうビジネスへ、 背中を押してくれた、OB・OGの力

マーケティングとして 海外戦略の最前線に立つ

セラミックメーカーの電子部品事業本部でプロダクトマーケティングを務めています。入社して国内営業を3年半経験したあと、1年間の海外研修を経て、現在は北米エリアの未参入市場へ参入し、実績の確立に取り組んでいます。市場調査と顧客訪問を重ね、開発部門とともに新製品の開発も推進しています。

自己を客観的に分析、 自信をもつて面接に臨む

就活で最もむずかしかったのは、客観的に自分を評価し、その適性・能力と企業をマッチングすることでした。実社会の中で自分が本当に何をしたいのか、何に向いているのか。それを知ることとは意外と難題で、就活仲間との話し合いなども含めて、自分自身に向き合っていました。キャリアセンターではマンツーマンで親身になって対応していただき、自分を深掘りすることができました。結果、自分の長所が「人を巻き込む力」であることがわかり、面接時にも自信をもって自己PRすることができました。

甲南ネットワークに連なり、 後輩をサポートしたい

甲南ネットワークを生かしたOB・OG懇談会に学生時代に参加したことも、就活にはとても役立ちました。実際に企業で活躍しておられる先輩方と話す機会を得て、自分の思いや考えを、相手に論理的に伝える力をつけることができました。現在の会社に興味をもったのも、懇談会で先輩のお話をうかがったことがきっかけでした。

甲南大学で出会った恩師や職員の方、先輩や後輩、同級生のおかげで現在の自分があると感じています。甲南大学は、自分が動こうとさえすれば、手を差し伸べてくれる人がたくさんいる環境です。そこで受けた恩を、OB・OG懇談会やビズリーチ・キャンパスなどを通じて、今後も後輩たちにつないでいきたいと思っています。



キャリアセンターの早期活用で 念願の三井住友銀行に内定

姉のアドバイスで 早くから就活に着手

姉から、「就活は早めに始めた方がいい」とアドバイスをもらっていたので、早いうちからキャリアセンターの面接練習や企業セミナーを活用していました。特にグループ面接実践会では、3年次の早くから面接の雰囲気になれることができ、非常に良かったと思います。また、苦手に感じていたエントリーシートの作成についても、キャリアセンターで何度も添削してもらったおかげで、なぜその業種を選び、その会社を志望するのかを自分のことばで伝えることができるようになりました。

チームでの 課題解決を体験する

学生時代に力を入れたこととして、兵庫県内の企業と大学が連携したプログラム「わたしのキャリア」をキャリアセンターからの情報で知り、参加しました。そこで他大学生とともに取り組んだのが「女性社員が8・5%の会社でより働きやすくするには」という課題でした。私は4人チームのリーダーとなり、お互いのコミュニケーションを密にし、各人に役割を割り振ることでミーティングの活性化につとめました。その結果、問題点を可視化でき、課

題をもつ企業へ新たな制度導入を提案することができました。この活動でチームでの課題解決の方法論を学び、コミュニケーションに自信がつき、就活に向けての下地づくりもできたと思います。

大学のサポートにより 働く現場を知る

金融業界が第1志望でしたが、他業種も含めて10社エントリーし、インターンシップは約15社に参加しました。さまざまな企業を知れることは、私にとって、とても大きな学びになりました。

最終的に三井住友銀行の総合職に内定をいただき、入行を決めました。三井住友銀行は、アルバイトの給与と振込口座になっていたことなどから、身近に感じていました。大学主催の企業見学ツアーやOB・OG懇談会などを通じて、職場の雰囲気と仕事の内容をよく把握でき、私の適性と希望にマッチしていたことも、この銀行を選んだ決め手でした。

配属先は、銀行の窓口業務の予定です。将来は、お客さまへの接客や事務作業を通して、お客さまに最適なサービスを提供できるようになりたいと思っています。念願がかなった職場なので、来年4月の初出勤へ向けて期待に胸を膨らませています。